※令和３年度以前入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ａ	単位数	２	年次	２～４
使用教科書	古典Ａ　（東京書籍）						
副教材等	みるみる覚える 古典単語 300+敬語 30　（いいずな書店） みるみる覚える 古典単語 300+敬語 30 準拠 みるみるノート　（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古文と漢文、古典に関する文章を読んで、我が国の伝統と文化に対する理解を深めます。
・講義形式・実習形式で授業をすすめます。小テストやレポート作成・演習・発表等を行うこともあります。
・教科書・副教材・ノート・筆記用具の他に、ChromeBook を使うこともあるので、注意してください。

２　学習の到達目標

・古文と漢文、古典に関連する文章を読んで、我が国の伝統と文化に対する理解を深める。
・先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。			まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析 （ノート、ワークシート等） 定期テスト	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期テスト 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期(後期)	歌物語	『伊勢物語』 月やあらぬ					○	a: 作品や登場人物、成立時代に興味をもち、取り組んでいる。 d: 登場人物について、人物像や相互の関係について的確にとらえている。 e:歌物語の特色や作品に関する文学的な基礎知識を理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析 (ノート・ワークシート・等) e:定期考査・小テスト
	歌物語	『大和物語』 安積山				○		a: 歌物語に関心をもち、取り組んでいる。 d: 和歌を中心にして、話の展開と登場人物の心情を読み取っている。 e:和歌の修辞について理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析 (ノート・ワークシート・等) e:定期考査・小テスト
	随筆	『方丈記』 行く川の流れ				○		a:随筆に関心をもち、取り組んでいる。 d:正確な読解をもとにして、描かれた情景や作者のものの見方、感じ方、考え方について、理解を深めている。 e:作品にあらわれている無常観について理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析 (ノート・ワークシート・等) e:定期考査・小テスト
	逸話	『史記』 季札挂剣					○	a:歴史的背景に関心をもち、取り組んでいる。 d: 文章中の機知や行動の意味などを理解している。 e:訓点に従い正確に訓読している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析 (ノート・ワークシート・等) e:定期考査・小テスト
	逸話	『晏子春秋』 晏子使楚					○	a:歴史的背景に関心をもち、取り組んでいる。 d:文章中の機知や行動の意味などを理解している。 e:漢文特有の語句や句形を理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析 (ノート・ワークシート・等) e:定期考査・小テスト
	逸話	『十八史略』 先従隗始				○		a:歴史的背景に関心をもち、取り組んでいる。 d: 文章中の機知や行動の意味などを理解している。 e:語句の意味や重要な句形について、理解を深めている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析 (ノート・ワークシート・等) e:定期考査・小テスト
	三国志	『十八史略』 赤壁の戦い				○		a:三国志に関心をもち、取り組んでいる。 d:登場人物の人物像や心情をつかみながら場面ごとの話の展開を的確にとらえている。 e:語句や句形を理解し、口語訳している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析 (ノート・ワークシート・等) e:定期考査・小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。